

松島ポンプ場 大規模雨水処理施設整備事業計画（敦賀市）

（様式１）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	本市では、昭和４９年度から下水道事業に着手し約５１年が経過している。うち松原排水区においては、松島ポンプ場（昭和５８年度供用開始）の老朽化が進行している。これら施設・設備について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 本計画における対象降雨：４３．３mm／時 ・ 目標とする理由：雨水排水能力を９９２m³／分から１，１２４m³／分に増強する。 ・ ハード整備による整備水準の目標：４３．３mm／時（１／１０対応） ② 目標設定 老朽化した雨水ポンプ施設の改築を行う事により、施設の機能停止による浸水リスクを解消し、家屋の浸水を防止する。 i) 生命の保護の観点：当該排水区の浸水被害を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を２０cmと設定する iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 ③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 施設整備により４３．３mm／時（１／１０対応）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、笙の川が氾濫した場合の洪水ハザードマップなどを、配布、ホームページへの掲載その他の必要な措置を講じ、住民等へ周知するものとする。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 ・ 策定予定			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水ポンプ設備改築 松島ポンプ場 150m³/min×1台 282m³/min×1台 346m³/min×2台 ・ 雨水ポンプ施設に関する設備改築
			下水道管理者以外	—
		ソフト対策	下水道管理者	・ 水路清掃
			下水道管理者以外	・ 側溝清掃(道路河川課) ・ 洪水ハザードマップの作成、公表(危機管理対策課) ・ 防災ラジオ、敦賀市防災メール、緊急速報エリアメール、防災放送チャンネル(危機管理対策課) ・ 総合防災訓練(危機管理対策課)
	自助	ハード対策		—
		ソフト対策		・ 水防訓練(敦賀市地域防災計画) ・ 水路、側溝清掃

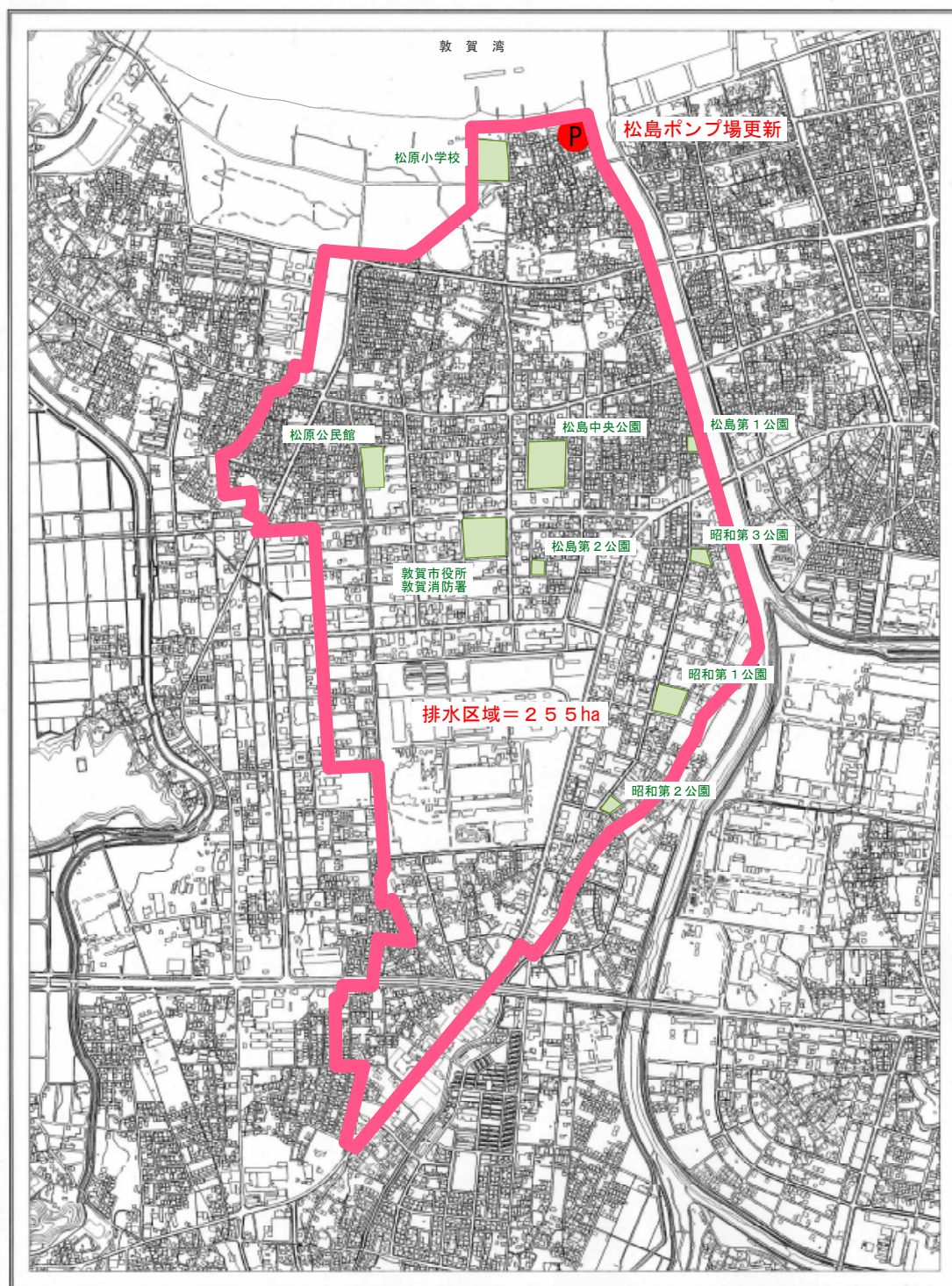
年度計画（百万円）

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	計
松島ポンプ場	80	86	499	480	492	860	768	589	63	63	3,980
計	80	86	499	480	492	860	768	589	63	63	3,980

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	・ 設置から42年経過している雨水ポンプ設備を更新するとともに、全体の雨水排水能力を992m ³ /分から1,124m ³ /分に増強する。
放流先河川との調整状況	・ 放流先である二級河川笙の川の管理者である福井県河川課と放流量について協議済み。

敦賀市松島ポンプ場 大規模雨水処理施設整備事業計画

縮尺 1/20000



凡 例	
	排水区域
	防災拠点
	ポンプ場更新箇所